



高齢者に喜ばれる
サービス 特集

せいえい
三つ星
レポート



“キラリ”と輝く経営事例

Part
2

元気スタンド・ぷリズム合同会社

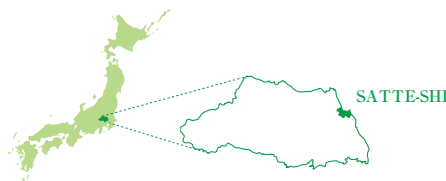
代表社員：小泉 圭司 氏

創 業：平成 19 年 12 月

営 業 所：埼玉県幸手市栄 3-2-106

従 業 員：1 名（うちパート 1 名）

電 話：0480-48-7372



☆☆☆
地域の高齢者が
気軽に立ち寄れる場所を提供

埼玉県幸手市にある幸手団地は、昭和 40 年代に建てられた公団住宅で、今では高齢者世帯が多くなり、なかでも一人暮らしの高齢者が増加しているそうです。そんな幸手団地の商店街の一角にあるのが「コミュニティ喫茶」「元気スタンド・ぷリズム」です。懐かしい昭和歌謡の BGM が流れる店内では、健康に配慮された、7 種類の惣菜が楽しめるデザートまで付いた「いろいろ弁当定食（580 円）」や様々な飲み物などが提供されており、地域の高齢者を中心とした利用客の、笑顔とおしゃべりが絶えません。

お店を営む小泉圭司さんは、もともと大手スーパーで勤務していました。そんなある日のこと、高齢の方がいつも同じ場所にずっと座っているのを見て、事情を聞いてみると、「どこにも居場所がない」という答えが返ってきて、ショックを受けたそうです。そこで、「元気なお年寄りが、住み続けてきた地域で長く暮らせるように居場所をつくり、介護予防にもつなげたい」とい

念発起し、平成19年12月に脱サラして、今のお店をオープンしました。

☆☆☆

利用客の健康意識を高める工夫が
来店のきっかけに

「元気スタンド・ぷりズム」では、「押し付けられない介護予防」をコンセプトに、様々な高齢者向けサービスを提供しています。その一つが、メニュー表です。飲み物や料理のメニュー表は、一冊の

ファイルになっており、口腔ケアの方法や血液検査値の見方など医療の情報に加え、バス停の時刻表や振り込め詐欺の注意事項など生活に関する情報まで掲載されています。さらに、自作で作成したランチョンマットには、100ます計算表や、座つたままできる体操法などが印刷されており、料理を待つちょっとした時間に、介護や医療の知



上：営業時間中は地域のお年寄りで賑わう店内 下右：利用客や地域の方が手作りした品を店内で販売 下左：笑顔で迎えてくれる経営者の小泉さん

地域の高齢者がいつまでも楽しく元気で過ごせるために

～“押し付けられない介護予防”をコンセプトにした高齢者向けサービス～

識に触れて、自然に健康への意識が高まるよう工夫されています。小泉さんは、「介護予防」というと、構えてしまう方が多いので、飲食をする中でさりげなくできる形を考えました」と話します。

また、平成24年からは、「暮らしの保健室」という無料の健康相談を実施しています。これは、近隣にある医師会と連携し、看護師が月に1回同店を訪れ、利用客の健康に関する相談に無料で応じるというもので、利用客の健康意識の向上にもつながっています。高齢者の利用客からは、「病院へ行った方がいいのか、どこで診てもらえばいいのかなどが相談できて大変ありがたい」と好評で、同店に

来店するきっかけにもなっているとのことです。

☆☆☆
高齢者と地域をつなげる
役割を担う

このようなサービスが口コミで広がり、高齢者の利用客を増

やしていった同店では、「歌声喫茶」というイベントの開催を通じて、利用客同士が交流できる場も提供しています。このイベントは、地域の演奏グループなどを招き、参加者が演奏に合わせて楽しく歌うというもので、多い時は25名ほどの方が集まり、利用客同士が顔見知りになったお客さま同士が、後日、一緒にお店に来ていただくこともあります。何より参加者の方が楽しそうに歌う姿を見ることが嬉しいですね」と笑顔で話します。

他にも、絵がき教室などのワークショップ開催や、利用客や地域の方が手作りした手芸品やアクセサリーを店内で販売するなど、利用客と地域の方がつながる取り組みも行っています。

「お年寄りの方は、人とのつながりを持つことが外出するきっかけにもなっています。今後は地域の子育て世代の方とお年寄りをつなげる取り組みも行っていきたい」と語る小泉さん。小泉さんが行う次なる取り組みからも目が離せません。